

森林学講座から若者の意見発表

私が林業研修生になった理由

日南町地域振興公社 松本 伸行

まず初めに軽く自己紹介させて頂きたいと思います。
私の出身地は茨城県の土浦市と申しまして、筑波山と霞ヶ浦に挟まれ、隣には研究学園都市つくばのある田園地帯にあります。年齢は39歳です。
今年の四月から日南町地域振興公社の第四期林業研修生として、こちらにまいりました。
どうぞヨロシクお願いします。
私が林業に興味を持つきっかけになったのは震災での原発事故が発端です。
当時私はライフラインがストップして電気も水も来ない生活をしました。携帯電話の充電も出来なくなり情報が入ってこないのが一番の不安でした。
限られた燃料を使いながらの自家用車のテレビのみが頼りで必要に応じて付けては、原発のニュースに釘づけになりました。当時は本当にパニック状態になり、いつでも避難できるように身の回りの物を準備したりしました。
本当にどうなってしまうのか解らない恐怖を感じました。
結果的に大量の放射性物質をまき散らし現在も何万人もの被災者の方がいつ戻れるのか解らないまま避難しなければならぬという最悪な事故となってしまいました。
地震大国である日本でこのような事故がもう起こらないという確証のもてないなかで原子力エネルギーに依存していくことは出来ないと思いました。
そこで必要となってくるのが原子力に変わる新エネルギーです。資源の乏しい日本において国土の約七割を占める森林を利用するのが一番良いのではないかと思いました。
木質バイオマスエネルギーです。
山では切り捨て間伐や、造材時に不要となる丸太が大量に放置されています。
また休耕田等利用して成長の早いバイオマスに適した植物を植えるなどでは如何でしょうか。
再生可能エネルギーであり今年の七月から固定価格買取制度もスタートしました。
まだまだ効率が悪く現状では発電コストが割高になってしまっていますが、今後の技術革新により新たな産業へと発展していく魅力があると思います。
日南町にはこのモデルケースとなりえる条件が整っているのではないのでしょうか。
町の90%が豊かな森林であり、沢山の田畑があります。そんな魅力を感じたからこそ、実際自分の目で日本の林業が現在どのような状態にあるのか体験したく、少しでもそのようなことに携われればと思い研修生になろうと思いました。
まだ4ヶ月しかおりませんが、住んでみると町民の皆さんがとても親切な人ばかりで、早く自分も日南町民として認知されるように色々な催しに積極的に参加していきたいと思っております。
明日は林業まつりで公社の特産品を販売しますのでお立ち寄りの際は気軽に声をかけてください。
少し早いですが発表を終わりたいと思います。
ご静聴ありがとうございました。



～日本でおいしい水が飲めるのは森林のおかげです～



みなさんは日本の森林が、海外の投資家に次々と買われていることご存じですか？
彼らにとっては、山の役割など関係なく、全ては、自分自身の利益の為だけに山を買っています。
海外投資家に買われた山が乱開発されると、それによって失うことが非常に大きいです。
山の水保全の役割が失われ、土砂災害の危険性、生物達への悪影響、海への悪影響……



美味しい野菜、魚を食べられるのも、日本の森林資源の恩恵です。
今一度日本人は森林の大切さを見直して、保全活動に力を入れるべきではないのでしょうか。

